

ひばるざくら

第4回 桜原 桜 フォトコンテスト

HIBARUZAKURA PHOTO CONTEST



38年前の春、南区桜原にある小さな桜並木が道路拡幅のために伐採されそうになりました。

一人の住民がそれを惜しんで短歌を下げた事をきっかけに、工事計画が見直され、桜に永遠の開花が約束されました。

30年以上の時を経た今、一帯は「桜原桜公園」として地域の人々の憩いの場として親しまれています。

心あたたまるストーリーが詰まった桜原桜を題材としたフォトコンテストを開催いたします。



HIBARUZAKURA PHOTO CONTEST

✿ 開催期間 ✿

令和5年 3|15(水) ~ 4|30(日)



Instagram



もしくは、



郵送にてご参加できます。

桜原桜について詳しくはこちらまで

👑 **グランプリ** (1名)

GoPro HERO11

(ゴープロ ヒーロー11) ビデオカメラ

準グランプリ (2名)

QUOカード

1万円分

入賞 (5名)

3000円相当の商品

桜原桜フォトコンテスト 募集要項

応募期間

令和5年3月15日(水)
～4月30日(日)

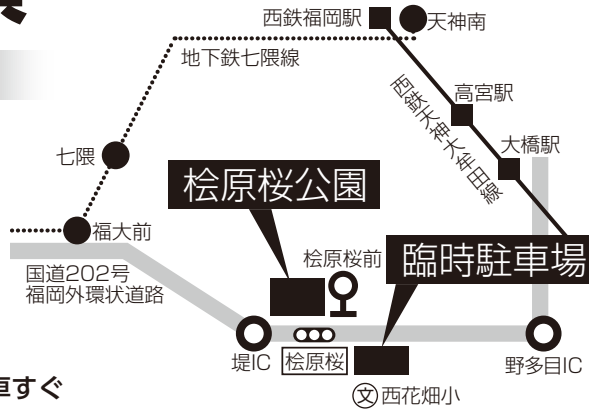
撮影場所

桜原桜公園内

福岡市南区桜原1丁目5番

○西鉄バス「桜原桜前」バス停下車すぐ

○臨時駐車場開設(令和5年3月18日(土)～4月3日(月))



応募規定

- ①桜原桜公園の桜の写真(当桜と分かるもの)を撮影すること
- ②応募枚数は制限しない(受賞作品は同一人一作品)
- ③受賞作品の著作権は主催者に帰属します

応募方法

Instagram

- ①桜原桜賞(フォトコンテスト)公式Instagramアカウントをフォロー(@hibaruzakura_minami)
- ②写真と共にハッシュタグ[#hibarupics2023]を記載して、自身のInstagramに投稿

郵送

- ①写真サイズは六切203mm×254mm～四切254mm×305mm
- ②写真の裏面に住所・氏名・電話番号を記載のうえ、右下[応募・問い合わせ先]まで送付して下さい。

審査員

楠田 瑠美

(アカウント名:rumixda)



ゆうぴょん

(アカウント名:yupyon_usagisan)



結果発表

令和5年7月末

桜原桜賞Instagram・桜原桜賞ホームページ等で発表します。

受賞者へは、公式アカウント[@hibaruzakura_minami]からダイレクトメッセージを送ります。(5日以内に返信がない場合、受賞は無効となります。)結果発表まで公式アカウントへのフォローを外さないようにお願いします。郵送応募の方へは、書面または電話でご連絡します。

その他注意事項

- ・応募時の送料、通信料は応募される方のご負担となります。
 - ・商品の発送は、日本国内に限らせていただきます。
 - ・受賞作品につきましては、二次利用させていただく場合がありますので、投稿写真の撮影にあたっては、第三者の肖像権、著作権その他の諸権利を侵害することのないようにしてください。第三者と紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって、解決していただきます。
 - ・被写体が未成年の場合は、親権者の承諾が必要です。
 - ・投稿写真は、応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限り、他者の作品の投稿は無効とします。
- 以下の内容にあてはまる投稿は禁止します。また、運営者が以下の内容にあてはまると判断した場合は、応募を無効とします。
- ・第三者の著作権、肖像権その他の諸権利を侵害するもの、他の印刷物、展覧会などで使用されているもの
 - ・公序良俗に反するもの。立ち入り禁止、撮影禁止場所で撮影したもの、営利を目的とした情報提供、広告宣伝もしくは勧誘行為にあたるもの
 - ・個人、企業、団体などを中傷したり、プライバシーを侵害するもの、他の個人、企業、団体等になりましたもの
 - ・本コンテストの適正な運営を妨げるもの、Instagramの利用規約・法令に違反するもの、その他運営者が不適切と判断するもの

※本コンテストはInstagramが支援、運営、関与するものではありません。

桜原桜の ストーリー

昭和59年3月、福岡市南区の桜原にある樹齢50年のソメイヨシノ9本が、道路拡幅工事により伐採されることになりました。

1本が伐られた翌日の未明、一人の住民が桜に次の短歌を下げて、市長に「最後の花を咲かせて」と嘆願したのです。

ちくぜんはなも しんとうしちょうどの
筑前花守り進藤市長殿
はな 花あわれ せめては あと二句

ついの開花をゆるし給え

・二句=20日間 ・ついの=最後の

この歌が、偶然にもある会社社長の目に触れ、それをきっかけとして、マスコミに桜助命嘆願が大きく取り上げられるや、あまたの短歌が桜の枝に吊り下げられました。

その中には…

はな お やまところ
桜花惜しむ 大和心の
うるわしや とわに匂わん
はな ころ 花の心は かずま 香瑞麻

の1首があり、のちに進藤一馬福岡市長の返歌であることが分かりました。そして、道路拡幅計画は一部変更されて桜原桜に、永遠の開花が許されたのです。

この話が作曲家團伊玖磨さんの名随筆「パイプのけむり」へ掲載され、さらには、ワールドマガジン「リーダーズ・ダイジェスト」に掲載されて海外にも知られることになりました。また、小学生の道徳副読本にも採用されたことがあります。

30年以上の時を経た今、市民と行政のキャッチボールで守られた桜並木は、桜原桜公園として地域の人々の憩いの場となっています。

[応募・問い合わせ先]

桜原桜賞実行委員会事務局

〒815-8501(住所不要)

福岡市南区役所企画振興課内

TEL.092-559-5064 FAX.092-559-5014

[主催] 桜原桜賞実行委員会 [共催] 福岡市
[協賛] (株)九電工、(株)新生堂薬局、
(株)杉田写真館 大橋ガーデンスタジオ、
(株)ダイキョープラザ、(株)ディアマインド、(株)ひよ子、
(公社)福岡県宅地建物取引業協会 南部支部、
(株)マイマイ(マイマイル)、(株)山口油屋福太郎、
(医)優誠会、雪印メグミルク(株)、(株)REEHA、
スポーツクラブ&スパルネサンス福岡大橋24
[後援] 福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、
西日本新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、
福岡市内郵便局